

事業計画書

事業所名
cafe TAGAJO
氏名
多賀城 太郎
創業（予定）日
令和7年10月1日

1 申請者の概要

ふりがな	たがじょう たろう		生年月日		
氏名	多賀城 太郎		昭和60年4月1日		
住所及び 連絡先	〒000-0000				
	多賀城市〇〇〇〇丁目〇〇-〇〇				
	TEL	022-368-4204	E-mail	shoko@city.tagajo.miyagi.jp	
	担当者名	多賀城 太郎			
同種の事業の経 営経験	同種の事業を経営したことはない。				
	○	同種の事業を経営したことはないが、勤務経験がある。			
		期間	平成28年4月	～	令和5年3月
	同種の事業を経営したことがあり、現在も継続中である。				
	開始時期				
	同種の事業を経営していたが、既に辞めている。				
	期間		～		
辞めた理由					
申請者の 経歴	年月	略歴			
	平成19年4月	株式会社〇〇入社（営業職）			
	平成28年4月	株式会社△△（カフェ運営）入社			
	令和5年4月	創業準備のため退職			
	年 月				
	年 月				
多賀城みらい塾（創業セミナー・スクール）受講	有	受講時期	令和7年2月20日		
認定創業支援等事業による証明書の発行	無	発行時期			
多賀城・七ヶ浜商工会会員加入	無	加入時期			

2 事業計画の概要

事業形態	個人事業主			創業（予定）日	令和7年10月1日		
業種	新事業	業種	喫茶店			コード	767
	既存事業	業種				コード	
事業所の所在地	〒985-8531						
	多賀城市中央2丁目1番1号						
店名・屋号	c a f e T A G A J O						
従業員等（個人の場合本人を除く）				外部機関の 支援状況	支援機関名		
①	役員（法人のみ）	0	人		多賀城・七ヶ浜商工会		
②	従業員	0	人		宮城県よろず支援拠点		
③	家族従業員（専従者）	1	人				
④	パート・アルバイト	1	人				
合計		2	人				
創業する 目的や動機	<p>●創業に至った経緯や、事業の目標を具体的に記入してください。</p> <p>私が創業を目指すのは、地域の人々が気軽に立ち寄り、つながりを感じられる場所をつくりたいという思いからです。7年間のカフェ勤務を通じて、カフェが「飲食提供の場」以上に、「人と人とを結ぶ場」として大きな役割を果たしていることを実感してきました。</p> <p>生まれ育った多賀城にUターンした今、親子連れや高齢者も安心して過ごせるカフェをつくり、地元に貢献したいと考えています。</p>						
創業に関する 経験や人脈と 経営理念等	<p>●これまでの職務経験や専門知識、創業に活かせる人脈・ネットワークについて記入してください。</p> <p>私は約7年間、都内カフェチェーンで店舗運営全般に携わり、接客・仕入・スタッフ育成などの実務を経験してきました。</p> <p>前職で築いた仕入先や同業者との繋がりは、創業後の運営やコラボに活かします。</p> <p>経営理念は「誰もが心地よく過ごせる居場所をつくる」です。</p>						
事業内容	<p>●どのような事業を行うか、具体的に記入してください。</p> <p>地域密着型カフェを開業します。</p> <p>コーヒーと手作り軽食を提供し、温かみのある空間づくりを目指します。</p> <p>月1回のイベント（絵本読み聞かせ、ワークショップ、コーヒー講座等）や作品展示を通じて地域交流を促進し、子育て世代や高齢者にも優しい設計とします。</p> <p>商店街や地元企業との連携にも積極的に取り組みます。</p>						

<p>主な取扱品 サービス</p>	<p>●提供する商品・サービスの内容を具体的に記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドドリップコーヒー・カフェラテ・カプチーノ・紅茶各種 ・手作りサンドイッチ（地元野菜を使用） ・焼き菓子・スイーツ（パウンドケーキ、マフィン等） ・テイクアウトメニュー全品対応 ・イベントスペース（ワークショップ、ミニ展示会など） ・店内の書籍・絵本コーナー 		
<p>販売ターゲット 販売戦略</p>	<p>●想定する顧客層や販売促進の方法について記入してください。</p> <p>ターゲットは、市内の30～60代の地域住民や周辺のオフィスワーカーです。 特に女性・親子連れ・シニア層が過ごしやすい空間とメニュー構成を意識します。 集客はInstagramやLINE、地域紙・フリーペーパー・チラシ配布などを活用。 リピーター対策としてポイントカードや月替わりメニューを導入。 地域イベントとも連携し、日常的に足を運びたいくなるカフェを目指します。</p>		
	<p>販売単価</p>	<p>営業・稼働日数</p>	<p>●営業予定日数や時間等を記入してください。</p>
<p>地域経済への波及効果</p>	<p>●地域への貢献や波及効果について記入してください。</p> <p>地元農家や作家との連携による仕入・展示販売で地域内経済を循環させます。 アルバイト雇用（学生・主婦層）により地域の雇用機会を創出します。 店内スペースを活用し、地域の作品展示や交流の場を提供します。 商店街・イベントと連携し、にぎわいづくりに貢献します。 空き時間のスペース貸出で他業種との連携も図っていきます。</p>		
<p>自由記述欄 自己PRとして別紙A4枚(片面)1枚のみ添付可とします。</p>	<p>●自己PRや補足事項を自由に記入してください。（A4片面1枚まで添付可）</p> <p>※別紙添付（店舗デザイン構想等）</p> <p>私はこれまで接客に強いこだわりを持ち、現場スタッフから店舗運営まで幅広く経験してきました。「Cafe TAGAJO」では、子連れやシニアにもやさしい空間をつくり、地域の居場所となることを目指します。</p> <p>地元の事業者と連携したイベント開催を通じて、地域とのつながりを深めます。創業後は商工会と連携し、改善を重ね、将来的な店舗展開も視野に入れていきます。日常に小さな幸せを届ける、地域に根ざしたカフェを実現したいと考えています。</p>		

3 必要資金と資金調達計画

準備から補助事業期間の終了までの間に必要な全ての資金と調達方法を記載してください。

必要な資金		金額	
設備資金	内装工事費	40	万円
	家具・什器（椅子・テーブル等）	25	万円
	厨房機器（冷蔵庫・オープン等）	50	万円
	看板	10	万円
	その他備品等	5	万円
			万円
			万円
設備資金の合計		130	万円
運転資金	仕入資金	15	万円
	広告宣伝費	10	万円
	人件費（6か月分）	60	万円
	家賃（6か月分）	60	万円
	光熱費等（6か月分）	20	万円
	雑費	5	万円
			万円
運転資金の合計		170	万円
合計		300	万円

※必要な資金と調達の方法の金額の合計は一致するようにしてください。

資金調達	方 法	金額	
	自己資金	100	万円
	親、兄弟、友人等からの借入		万円
	金融機関からの借入	100	万円
	その他（名称： ）		万円
	市補助金交付希望額	100	万円
	合計	300	万円

借入（相談）先の金融機関	〇〇銀行多賀城支店
--------------	-----------

市補助金交付希望 相当額の調達方法	方 法	金額	
	自己資金	100	万円
	親、兄弟、友人等からの借入		万円
	金融機関からの借入		万円
	その他（名称： ）		万円
合計	100	万円	

4 事業スケジュール

実施時期	具体的な実施計画
1年目	物件契約・内装・設備準備（7～9月）、スタッフ研修・PR開始 10月開業 月1回イベント開催、地元作家の展示も実施
2年目	SNS活用・リピーター施策を強化 地域イベントや店舗連携による認知拡大 商品やサービスの見直しも実施
3年目	平日活用の拡充（レンタル・講座）、イベント収益化を検討 移動販売や2号店展開に向けた調査を開始

事業の見通し（月平均）

項目		1年目	2年目	3年目	根拠（1年目）
①売上高		42万円	48万円	55万円	○売上高 1日平均来店数24名 × 平均単価700円 ×25日営業
②売上原価 （材料・商品仕入等）		14万円	16万円	18万円	
③総利益（①－②）		28万円	32万円	37万円	○売上原価 原価率30～33%を想定
④ 経 費	人件費	10万円	11万円	13万円	○経費 ・家族専従者1名、パート1名 （家）月給6万円（週5日×4時間） （パ）月8日×時給1,250円×4時間 ・家賃10万円 ・支払利息 100万円×年6%÷12ヶ月 ・その他 光熱費・備品・通信費・広告費等
	家賃	10万円	10万円	10万円	
	支払利息	0.5万円	0.5万円	0.5万円	
	その他	3万円	3.5万円	4万円	
	合計④	23.5万円	25万円	27.5万円	
営業利益（③－④）		4.5万円	7万円	9.5万円	
従業員数（本人除く）		2人	2人	2人	

5 補助金交付申請額

※対象期間（令和7年4月1日～令和8年3月31日まで）に発注～支払が完了するものが対象となります。

※概算ではなく、必ず必要経費で申請してください。

※設備・備品費にあつては、形状及び品質を変えず、比較的長期にわたって使用若しくは保存に耐え一品の取得価格が税抜き10,000円以上のものが対象となります。

※積算の元となる見積書、領収書等の写しを添付してください。

(単位：円)

費目	補助対象経費		補助金交付申請額 (B×4/5以内) 上限100万円	「補助対象経費（消費税込）」に係る積算基礎 ※別紙による提出可
	(消費税込)	(消費税抜)		
① 事務所等の増改築費	400,000	363,636		内装工事一式×40万円 = 40万
② 事務所等の借入費	600,000	545,455		月10万×6か月（10月～3月） = 60万
③ 設備・備品費	610,000	554,545		ソファー5万×1台 = 5万
				テーブル2万×4台 = 8万
				冷蔵庫10万×2台 = 20万
				オープン10万×1台 = 10万
				コーヒーマシン18万×1台 = 18万
④ 広報費	100,000	90,909		SNS広告料（月額）1万×3か月 = 3万
			チラシデザイン・印刷 = 2万	
			ホームページ作成費 = 5万	
⑤ 開業事務手数料	0	0		
⑥ 顧客開拓費	0	0		
⑦ 専門家助言・指導費	0	0		
⑧ その他 (上記に区分されない経費)	0	0		
合計	(A)	(B)	(C)千円未満切捨て	
	1,710,000	1,554,545	1,000,000	